

# ペットのために 緊急事態に 備えるのは大切なことです 今すぐに準備しましょう。

全米にいる数百万人のペットの飼い主と同様に、ペットを飼っている人にとってペットは家族の大切な一員です。火事や洪水、竜巻やテロ攻撃といった緊急事態に、あなた自身とペットが生き延びることができるかどうかは、今現在、緊急計画を立てているかどうかにより大きく左右されます。ペット用防災用品キットの用意やペットの世話を頼める人を探しておくなどといった不慮の事態への備えは、どんな緊急事態にも必要です。緊急事態に家に残る場合にも、あるいは安全な場所に避難する場合にも、ペットのための対策を事前に計画しておく必要があります。飼い主であるあなたにとって最善の策が、ペットにとっても最善の策である場合が多いのです。

避難が必要な場合、可能ならばペットを連れて行きましょう。しかし、公共の避難所では、屋内に動物を入れられない場合があることを理解しなければなりません。あなたとペットの両方が避難できるように、別の避難場所を事前に考えておきましょう。

緊急事態にペットの世話を自分でできなくなった場合を想定し、別の計画を立てておきましょう。自分で世話ができない場合には、あなたに代わってペットの世話をしたり避難させたりしてもらえよう、近所の人や友人また親類に事前に頼み、世話ができる人が随時にいるようにしましょう。最低3日間、場合によってはそれ以上の期間、自力で対応できるよう、臨機応変に手元にあるものをうまく利用できるようにしてください。

不慮の事態に  
備えるのは大切なことです。  
今すぐに準備しましょう。



この手引書は、米国国土安全保障省により、次の機関との協議の上作成されました。：  
アメリカン・ケンネル・クラブ、米国動物虐待防止協会、米国獣医師会、米国獣医師会、および全米人道協会



AMERICAN  
KENNEL CLUB<sup>SM</sup>

ASPCA<sup>®</sup>

THE AMERICAN SOCIETY FOR THE PREVENTION OF CRUELTY TO ANIMALS



THE HUMANE SOCIETY  
OF THE UNITED STATES



Ready

Prepare. Plan. Stay Informed.®



FEMA

Ready

Prepare. Plan. Stay Informed.®



障害者にと  
緊急事態に  
備えるのは大切なこと  
とです。  
今すぐに  
準備しましょう。



FEMA

www.ready.gov

# 1 防災用品の備え

## ペット用防災用品キットの準備

家族の防災用品キットと同様に、ペットが生き延びるために必要なものを第1に考えましょう。特に、餌と水は欠かすことができません。キットは2つ準備しましょう。ひとつには、あなたとペットが家に残るときに必要なものを準備します。もうひとつは、避難しなければならない場合に持ち出せるよう、軽量で小さめのものを用意しましょう。キットは定期的にチェックし、特に餌と医薬品といった中身が保存期限を過ぎていないか確認しておきましょう。

餌 - 最低3日分の餌を、密閉された、防水の容器に入れておきましょう。

水 - 水は、あなた自身や家族用とは別に、ペット用のものを、最低3日分用意しておきましょう。

医薬品および医療記録 - ペットが常用している薬がある場合は、予備の薬を防水容器に入れ用意しておきましょう。

救急キット - かかりつけの獣医師に、ペットの応急処置の仕方を相談しておきましょう。救急基本キットには、綿の包帯、絆創膏、はさみ、抗生物質軟膏、ノミやダニの駆除・予防薬、ゴム手袋、イソプロピル・アルコール液および食塩溶液を備えておきます。また、ペットのための応急処置手引書も入れておきましょう。

鑑札や名札のついた首輪、ハーネス、またはリード（引き綱） - ペットには常に、狂犬病接種タグと名札のついた首輪をつけましょう。ペット用防災用品キットには、予備のリード、首輪、そして個体識別タグを入れておきます。また、ペットの登録情報、ペット譲渡書類、予防注射、ワクチン接種記録、および医療記録の写しを透明なビニール袋や防水容器に保管し、キットに入れておきます。またマイクロチップなどによる個体識別や、検索用データベースへの登録について、獣医師と話し合い、検討しておく必要があります。

クレートまたはペット・キャリングケース - 緊急時に避難しなければならない場合、可能であれば、ペットや飼っている動物と一緒に連れて行きましょう。ペット移動用の頑丈で安全な、そして安定したクレートやキャリングケースがあると、多くの状況で、移動がしやすく便利です。キャリングケースは、中のペットが立ち上がったたり、回ったり、横たわったりできるだけの大きさがが必要です。

衛生 - 状況が許すならばトイレ砂と砂箱を、そして新聞紙、ペーパータオル、ビニール製ゴミ袋、および家庭用塩素系漂白剤を、ペットの衛生を保つために用意します。漂白剤は、消毒剤として使用（漂白剤を9倍の水で薄めます）したり、緊急時には水の浄化にも使うことができます。標準の液体漂白剤16滴を1ガロンの水に溶かします。香りのついたものや色物用漂白剤、あるいは洗剤入りのものは使用できません。



飼い主と一緒に写っている写真- 緊急時にペットとはぐれてしまった場合のために、飼い主と一緒に写っているペットの写真があれば、所有権を証明する際に役立ったり、ペットを探してもらう際に助けとなります。種別、品種、年齢、性別、毛色、および目立った特徴などの詳しい情報も入れておきましょう。

普段ペットが使っているもの - 好きなおもちゃ、好きなおやつ、または寝床をキットに入れておきましょう。普段使っているものがあると、ペットのストレスが軽減されます。

# 2 緊急時に

## どう対処するか計画を立てましょう。

状況判断ができるように準備をしましょう。緊急時には、あなた自身が自力で対応し、ペットの安全を確保するために、手元にあるあらゆるものを利用しましょう。周囲の状況や災害の特性によって、その場に残るか、あるいは避難するかを判断することが先ず最初に重要となります。このように2つの場合があることを理解し、いずれの場合に対しても計画を立てておきましょう。常識とこの手引書にある情報を使い、差し迫った危険があるかどうか判断しましょう。どのような緊急事態でも、災害の状況や住民がどうすべきか、地域の行政機関が迅速に情報を提供できる場合と、できない場合があります。テレビ、ラジオ、あるいはインターネットによって、指示があるかどうかを確認してください。具体的に避難、屋内退避、または治療を受けることを指示された場合には、すぐに指示に従ってください。

避難のための計画を立てましょう。ペットを集める手段を考え、避難場所を予定しておきます。避難が必要になった場合は、できるだけペットと一緒に連れて行きましょう。公的避難所に行く場合は、ペットが中に入れない可能性があることを頭に入れておきましょう。飼っているペットの数や種類を考えて、事前に適切な滞在場所を確保しておきましょう。緊急時にあなたとペットを受け入れてくれる家族や友人を検討しておきましょう。他のペット受け入れ先オプション: ペットを受け入れるホテルやモテル、また避難場所や家族が落ち合う場所の付近にあるペットホテルや動物病院などといった滞在施設が考えられます。災害が起こる前に、このような地域施設のどれがあなたとペットにとって良い選択肢が調べておきましょう。

ペットの世話を頼める人を事前に決めておきましょう。近所の人たちや友人や親類と計画を立て、あなたが自分でペットの世話をしたり避難させたりできない場合に、代わりにやってもえらるようには手配しておきましょう。ペットの世話を頼む人にあなたで作った避難計画を知らせ、ペット用防災用品キットの保管場所を教えておきましょう。また、緊急時の集合場所として、家の近所と離れた場所の2ヶ所を決めておきましょう。

緊急時の計画について、かかりつけの獣医師に相談しましょう。ペット用救急キットに入れなければならないものについて、話し合っておきましょう。他の町の獣医師や動物病院の名前を、一時的な預け場所として紹介してもらいましょう。またかかりつけの獣医師に、マイクロチップなどによる個体識別や、検索用データベースへの登録について話し合い、検討しておく必要があります。ペットがマイクロチップを装着している場合には、緊急連絡先を最新ののものにし、信頼できる検索用データベースに登録しておくことが、はぐれてしまったペットと再会するために非常に重要です。



緊急時のペット対策として、連絡先をリスト化しておきましょう。全米人道協会や動物虐待防止協会などの地域の動物管理機関、また緊急時の動物病院の連絡先や住所録を作成しましょう。このような電話番号一覧表の1部をあなたが保管し、もう1部はペット用防災用品キットに入れておきましょう。「ペットが中にいます」というシールを入手し、家にいるペットの数や種類の情報とともに、消防士や救助隊の目に付くように、ドアや窓に貼っておきます。シールには、緊急時のあなたの連絡先電話番号も書いておきましょう。時間の余裕があれば、ペットと同行避難をする場合に備え、「ペットと同行避難」とシールに書いておきましょう。

# 3 緊急事態の種類について

## 情報を集めましょう。

あなたや家族のため、そしてペットのために防災用品キットを用意するといった不慮の事態への備えは、緊急事態の種類を問わず必要です。しかし、どのような事態が起きる可能性があるのか情報を得ることや、あなたの地域に影響する災害の種類や、州・地方自治体が作成した緊急計画を知ることは大切です。緊急事態への備えに関するより詳しい情報については、[www.ready.gov](http://www.ready.gov) をご覧になるか、1-800-BE-READYまで電話でご連絡ください。

本手引書の情報を、あなた自身の状況に応じて臨機応変に取り入れ、災害現場にいる行政機関の指示にできる限り従うようにしてください。このような基本的な用意をすることで、不慮の事態に備えることができます。時間をかけて自分たちとペットの備えを行っておけば、困難な状況やストレスや不安が軽減されるでしょう。今のうちにあなた自身とペットのために緊急事態へ備えましょう。

ペットのために緊急事態へ備えるのは大切なことです。今すぐに準備しましょう。